

トンネル構造物のコンクリートに対する耐火工設計施工指針（案）

目 次

1章 総 則	
1.1 一 般	1
1.2 適用の範囲	4
1.3 用語の定義	7
2章 耐火工の目的と要求性能	
2.1 耐火工の目的と必要性	9
2.2 耐火工の要求性能	12
3章 耐火工の種類	
3.1 耐火工の種類	17
4章 耐火工の設計および照査	
4.1 一 般	25
4.2 耐火工の選定	26
4.3 耐火工の設置範囲の設定	29
4.4 耐火工の諸元の設定	29
4.5 性能照査	33
4.6 構造細目	36
4.6.1 耐火被覆を設置する耐火工に関する構造細目	36
4.6.2 コンクリート自身の耐火性に期待する耐火工に関する構造細目	39
5章 耐火工の施工	
5.1 一 般	41
5.2 現地調査	42
5.3 施 工	42
5.3.1 共通事項	42
5.3.2 耐火板の施工	42
5.3.3 吹付け工の施工	46
5.3.4 コンクリート自身の耐火性に期待する耐火工の製作・施工	49
5.3.5 ブランケット系の耐火被覆材の施工	50
5.3.6 塗装系の耐火被覆材の施工	50

5.4	品質管理	51
5.4.1	共通事項	51
5.4.2	耐火板の品質管理	51
5.4.3	吹付け材の品質管理	52
5.5	検査	53
5.6	施工記録	54

6章 耐火工の維持管理

6.1	一般	55
6.2	火害を受けた後の維持管理	55
6.2.1	一般	55
6.2.2	調査	56
6.2.2.1	予備調査	57
6.2.2.2	現地一次調査	57
6.2.2.3	現地二次調査	59
6.2.2.4	詳細調査	60
6.3	診断	61
6.4	補修・補強	62
6.5	補修・補強後の耐火工の維持管理	64
6.6	記録	64

参考資料編

- 参考資料 A 簡易試験法
- 参考資料 B 耐火工施工実績集
- 参考資料 C 技術資料集